

令和 5年度予算見積調書

課室名: 地域包括ケア課
 担当名: 認知症・虐待防止担当
 内線: 3251

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
S66	若年性認知症の人の就労等社会参加支援事業		一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	在宅高齢者支援事業費		
事業期間	令和元年度～令和7年度	根拠法令	介護保険法第5条第3項、認知症総合戦略推進事業実施要綱		針路分野施策	03 介護・医療体制の充実 0301 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-c		
1 事業概要	若年性認知症の人の就労継続・再就職支援、本人ミーティング及び実態調査を実施することで、若年性認知症の人が社会とのつながりを保ち、生きがいを持って暮らせる環境を整備する。		5 事業説明						
	ア 若年性認知症の人の就労支援事業 10,581千円 イ 本人ミーティング開催事業 266千円		(1) 事業説明 ア 若年性認知症の人の就労支援事業 10,581千円 企業等に対する雇用継続等への理解促進、若年性認知症の人や家族からの就労継続・再就職に関する相談対応を実施する。 イ 本人ミーティング開催事業 266千円 本人や家族の思いや要望を施策に反映させるため、本人ミーティングを開催する。 (2) 事業計画 ア 専門員の配置、本人・家族とともに企業訪問による理解促進、企業向けセミナーの開催 若年性本人の社会参加のための若年性認知症カフェの運営 イ 本人ミーティングの開催 (3) 事業効果 ア 本人や家族の希望する就労継続、再就職ができる環境を整備することができる。 イ 本人や家族の希望を把握することで、望ましい施策を検討することができる。						
2 事業主体及び負担区分	ア・イ 介護保険事業費補助金 (国1/2・県1/2)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.0人=9,500千円								
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	10,847	国庫支出金	5,423					5,424	0
前年額	10,847	5,423						5,424	

事業内訳書

事業名	若年性認知症の人の就労等社会参加支援事業		
単位事業名	若年性認知症の人の社会参加支援機関設置事業	予算額	10,581千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	10,581	0	若年性認知症就労等社会参加支援事業業務委託
合計	10,581	0	

単位事業名	本人ミーティング開催事業	予算額	266千円
-------	--------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	136	0	講師謝金 4回分
需用費	90	0	消耗品、チラシ印刷代
使用料及び賃借料	40	0	会場使用料 4回分
合計	266	0	